

令和4年度

知的財産包括支援事業 —事例集—



知的財産保護支援

《団体・スタートアップ向け》



県内業界団体やスタートアップ企業が抱える知的財産に関する課題を解決に導くため、弁理士やブランディングコンサルタント等の専門家による継続的な助言等を行います。

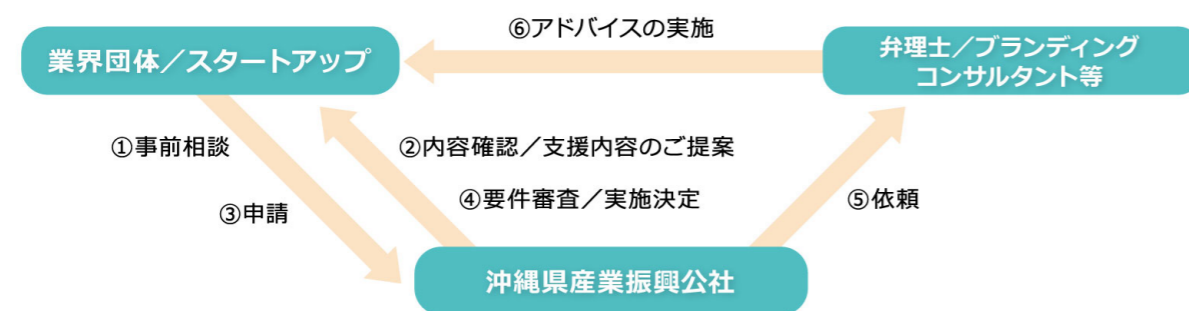
- ✓ 上限 4 回まで継続的な助言を受けられます
- ✓ 申請者の費用負担はありません
- ※別途、助言を受けるための会議室等をご用意いただく場合があります

こんな方におすすめ



- 団体加盟企業等に知的財産保護の重要性について知ってもらいたい
- 地域ブランドを確立して、商標登録・商品開発などを考えたい
- 特許や商標出願等のノウハウ、手続きを知りたい
- 特許等の知財を活用した事業戦略を検討したい

■ 支援までの流れ



《支援例》

ご要望の例	支援内容例	専門家
知的財産保護の重要性について知ってもらいたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 特許、商標、意匠などの基礎講義 ● 知財を活用したビジネス事例の紹介 	弁理士 企業経営者
地域ブランドを確立して、商標登録・商品開発などを考えたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 商標などの基礎講義 ● 地域団体商標出願等に関する助言 ● 商品のブランディングに関する助言 	弁理士 ブランディング コンサルタント
特許や商標出願等のノウハウ、手続きを知りたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 特許、商標、意匠などの基礎講義 ● 出願手続きの進め方や書類の書き方 ● 知財検索サービスでの先行調査 	弁理士
特許等の知財を活用した事業戦略を検討したい	<ul style="list-style-type: none"> ● 特許などの基礎講義 ● 知財検索サービスでの先行調査 ● 特許マップ等の作成及び分析方法 	弁理士

業界団体等向け

事例 1

知的財産学習会

沖縄県中小企業家同友会

実施目的

企業経営の参考にするため、会員企業を対象に知的財産の重要性を理解するための勉強会を開催したい。

支援内容

長く知的財産保護に尽力された弁理士より、沖縄に所縁のある商標の保護や若年者に対する知財教育の重要性等について講演を行った。また、特許を活用したビジネスを行っている企業経営者より、特許のきっかけからビジネスに至るまでのプロセスについて講演を行った。

専門家

弁理士 福島 康文（福島特許事務所）
弁理士 新垣 盛克（新垣特許事務所）
高安 正勝（株式会社ぬちまーす代表）



支援を活用した感想



- 参加者から自社で商標や意匠の取組を模索したいとの感想があり、知的財産について考え始めるきっかけとなった。
- 中小企業こそ、強靱な企業体質を作るため、今後も知的財産の重要性を訴える必要性を感じた。



業界団体等向け

事例 2

知的財産を経営に活かす戦略的手法

一般社団法人トロピカルテクノプラス

実施目的

スタートアップ等研究開発型企業が取組む新たな研究・製品開発を効率的・効果的に行うため、特許情報を分析して経営戦略の策定に活用するための知識を深めたい。

支援内容

パイオ関連施設に入居しているスタートアップ等企業を対象に、知財情報を経営戦略に活かす重要性や分析方法等について講義を行った。また、「冷凍技術」を題材にワークを行い、特許情報分析の基礎を学んだ。

専門家

弁理士 西平 守秀（福島特許事務所）



支援を活用した感想



- ワークで実際に特許マップ作成を体験でき、特許情報のデータを、今後の技術開発や経営戦略の立案にどのように活用するのか、そのイメージが持てた。
- 参加者からはさらに深掘した要望もあり、知財の活用に対する関心が高まったと思う。



業界団体等向け

事例 3

特許情報を事業戦略策定に活用する

株式会社マネリア

実施目的

事業戦略を策定するため、研究内容の技術的価値に関する分析方法の知識を深めたい。

支援内容

研究内容を活用したビジネスの事業戦略策定の参考とするため、以下の事項を中心に特許情報を分析する方法について助言を行った。

- ①ユーザーの利便性に基づいたキーワード抽出(分析の母集団生成)
- ②Excel、テキストマイニングツールを用いた特許マップの作成(特許出願傾向、競合他社動向の分析)

専門家

弁理士 西平 守秀（福島特許事務所）



支援を活用した感想



- 知的財産は取得だけが目的でなく、自社製品の類似製品との比較や市場状況の分析に活用できることがわかった。
- 分析に用いたツールは無料で簡単に使用できるので、さらに深掘した調査を継続したい。



知的財産保護支援

《学校向け》



高校や大学等の研究・教職員や学生等の知的財産に対する関心や知識を高めるため、弁理士やブランディングコンサルタント等の専門家による講義等を行います。

- ✓ 上限 4 回まで継続的な講義を受けられます
- ✓ 申請者の費用負担はありません
- ※別途、講義等を受けるための教室等をご用意いただく場合があります

こんな方におすすめ



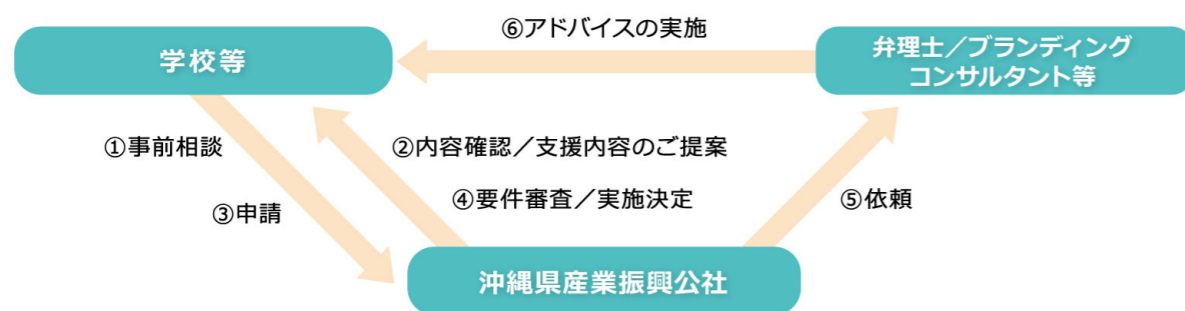
【学生向け】

- 知的財産の基本について知ってもらいたい
- 特許や商標出願の実務について学ばせたい
- 商品パッケージデザインやネーミング等について学んでもらいたい

【研究・教職員向け】

- 共同研究等を推進するため、知財の権利化や管理上の注意事項を確認したい

■ 支援までの流れ



《支援例》

ご要望の例	支援内容例	専門家
知的財産の基本について知ってもらいたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 特許、商標、意匠などの基礎講義 ● 知財を活用したビジネス事例の紹介 	弁理士 企業経営者
特許や商標出願の実務について学ばせたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 特許、商標などの基礎講義 ● 知財検索サービスでの先行調査 ● 出願手続きの進め方 	弁理士
商品パッケージデザインやネーミング等について学んでもらいたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 商標などの基礎講義 ● 商品企画（コンセプトやネーミング等）のワークショップ 	ブランディング コンサルタント
共同研究等を推進するため、知財の権利化や管理上の注意事項を確認したい	<ul style="list-style-type: none"> ● 特許、商標、意匠などの基礎講義 ● 個別の実務状況等に対する助言 	弁理士

学生向け

事例 1

パテント/デザインパテントコンテストに向けて～ 特許権・意匠権を中心に～ 知的財産について～商標権・著作権を中心に～

沖縄県立沖縄工業高等学校(工業化学科)

実施目的

パテントコンテストやデザインパテントコンテストへの応募に向けて、生徒のアイデアを具現化、文書化し、特許権や意匠権の学習を行いたい。また、商標権、著作権の基礎について学び、生活で直接関わることの多い知的財産の学習の機会を得たい。

支援内容

知的財産学習の一環として、パテントコンテスト等への応募に向け、生徒が考案したアイデアについて、公知技術情報の活用方法等、専門家(弁理士)からアドバイスを行った。また、商標権や著作権の基礎を理解するため、商品ロゴマークや身近なキャラクター等を題材にクイズ形式での講義を行った。

専門家 弁理士 阿部 伸一 (BS 国際特許事務所)

学校担当者の感想

- 公知技術の調査の仕方や比較の仕方を学び、生徒のアイデアを発明・創作としてブラッシュアップすることができた。
- クイズ形式で参加型の講義は生徒も楽しく集中でき、とても良いと感じた。また、著作物に対する意識も変わったのではないかなと思う。



学生向け

事例 2

知的財産について～著作権を中心に～

沖縄県立泊高等学校(通信制課程)

実施目的

学校卒業後の活動や日常生活において役立たせるため、知的財産権(著作権)の理解を深めたい。

支援内容

音楽教室での著作権料訴訟や違法ダウンロードの規制対象が漫画等の著作物に広がったこと等、最近の話題を題材に、知的財産(著作権中心)の概要について講義を行った。

専門家 弁理士 西平 守秀 (福島特許事務所)

学校担当者の感想

- 50分という短い時間で、「著作権」の大切な部分をコンパクトにまとめて講義頂いた。
- 実際の事例を交えた解説で、生徒の多くが「著作権」を身近に感じ、興味関心を持って講義を受けることができた。



事例 3 知的財産について～特許・意匠・商標・著作権～/商品ブランディング
 学生向け 3 沖縄県立中部農林高等学校(食品科学科)

実施目的 食品関連産業に従事できる能力と態度を育成するため、商品開発に必要な知識として、知的財産(特許・意匠・商標・著作権)の基礎と商品のブランディングについて学びたい。

支援内容 知的財産の基礎を理解するため、身近な即席カップめんやキャラクター、商品ロゴマーク等を題材にクイズ形式での講義を行った。また、最近話題になっている商品(コンセプト・ネーミング・デザイン)を紹介し、ブランディングについて、グループワークを交えながら理解を深めた。

専門家 弁理士 阿部 伸一(BS 国際特許事務所)
 中村 美樹(クリエイティブファクトリー・パパラギ)



学校担当者の感想

- 知財教育という法律の話など難しいイメージがあったが、多くの生徒から「分かりやすく、楽しく学ぶことができた」という声が聞かれた。
- 豊富な写真や実物を用いることで、生徒が興味深くワークに取り組むことができた。

事例 4 知財を活用したビジネスを展開している企業経営者による講演
 学生向け 4 独立行政法人国立高等専門学校機構沖縄工業高等専門学校(生物資源工学科)

実施目的 知財を活用した事業展開を行う県内ベンチャー企業による講演を行い、知的財産や企業経営に対する理解度を高めたい。

支援内容 「バイオマス燃焼灰のリサイクル特許技術」により「資源循環型ビジネス」を展開する企業の経営者より、技術的な特徴や事業スキームについて、競合他社との比較や商品の用途事例等による解説が行われた。

専門家 謝花 一成(株式会社リュウクス代表)



学校担当者の感想

学生からは、「経営者になったつもりで仕事に取り組む」、「起業するのもあり」等、社会での心構えに関する感想が見られた。知的財産や起業に興味を持ち、理解度が深まったことで、今後の進路決定の指針の一つになったと思われる。

事例 5 商品・商標等に関するデザイン
 学生向け 5 沖縄県立陽明高等学校(総合学科)

実施目的 ビジネス社会に期待を抱き意欲を高めるため、商品のブランディングについて学び、知的財産を活用するイメージを持ちたい。

支援内容 知的財産(商標)の基礎を理解するため、最近話題になっている商品(コンセプト・ネーミング・デザイン・売り方等)を紹介し、ブランディングについて、グループワークを交えながら理解を深めた。

専門家 中村 美樹
 (クリエイティブファクトリー・パパラギ)



学校担当者の感想

参加した生徒から「時間があつという間でとても楽しかった」「自分もぜひ商標をとりたい」「商品のデザインをしたい」「ああいう仕事してみたい」などの感想があり、ビジネス社会に対する生徒の期待が高まった。

事例 6 音楽や美術にかかわる著作権について
 学生向け 6 公立大学法人沖縄県立芸術大学

実施目的 学生が社会に出て必要となる基礎的知識として、音楽や美術で関わる知的財産(著作権)の基礎について、理解を深める機会を提供したい。

支援内容 芸術大学の学生にとって関わりの高い音楽・芸術分野の創作活動例として、動画の共同作成事例をもとに、著作権の基礎(著作物や著作者、権利の所在、二次利用、侵害時の責任等)について、解説が行われた。

専門家 弁護士 倉崎 伸一郎
 (シティライツ法律事務所)



学校担当者の感想

- 今後の芸術、創作活動にかかわりの深い著作権について、予備知識を得る機会となった。
- 芸術大学の学生向けに丁寧に分かり易く講義頂いた。

事例 7 知的財産(特許権)の基礎について
 学生向け 7 国立大学法人琉球大学(工学部 建設材料科学研究室)

実施目的 研究室のゼミ生を対象に、知的財産(特許権)の基礎に関する知識習得のため、理解を深める機会を提供したい。

支援内容 知的財産(特許権)の基礎について、大学生にも身近な商品を題材に、特許公報などの資料を用いながら、特許取得の手続きや侵害行為とされたときに生じる問題点等の解説が行われた。

専門家 弁理士 大久保 秀人
 (沖縄国際特許商標事務所)



学校担当者の感想

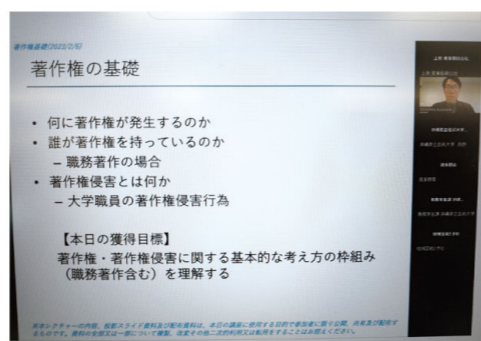
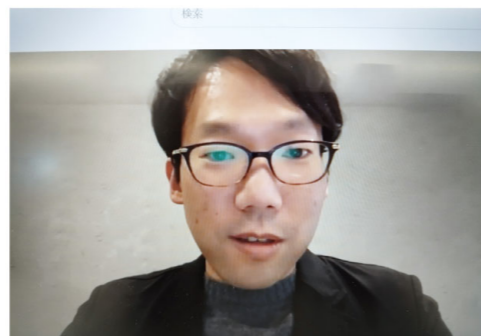
- 実例を挙げながら対話形式で講義を進めて頂いたため、知的財産の基礎的な内容と重要性を理解することができた。
- 学生からの評価も高い講義内容で、学生自身の研究に関する意識も変わったのではないかと感じられた。

職員向け 事例1 著作権概要(著作権侵害の判断プロセス)及び職務著作の扱いについて
公立大学法人沖縄県立芸術大学

実施目的 企業や試験研究機関等との共同研究を積極的に進めるため、教職員を対象に知的財産(著作権)に関する理解を深めたい。

支援内容 芸術大学にとって関わりの高い著作権について、楽曲作成や論文作成等にかかわる事例をもとに、基礎的な内容(著作物や著作者、権利の所在、二次利用、侵害時の責任等)の解説及び業務に基づいた質疑応答が行われた。

専門家 弁護士 倉崎 伸一朗 (シティライツ法律事務所)



学校担当者の感想

- 芸術大学に合わせて音楽等で生じる事例をもとに丁寧に解説頂いた。
- 本学の教職員として必要な知識だけでなく、法令等について詳細に解説頂いたことで、教育研究活動での不正を避ける行動にもつながると思う。

職員向け 事例2 共同研究における注意点と権利化について
独立行政法人国立高等専門学校機構沖縄工業高等専門学校

実施目的 知的財産に関する知識の向上を図るため、企業等との共同研究を実施するにあたり、必要となる知的財産保護上の注意点等について理解を深めたい。

支援内容 特許出願手続きの流れ、論文発表と出願手続きのスケジュール、研究に携わる学生および研究関係者以外への研究情報提供時の注意事項等について、質疑応答を中心とした形式で解説を行った。

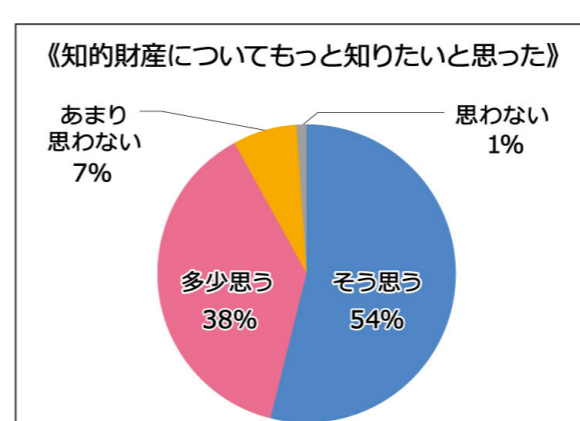
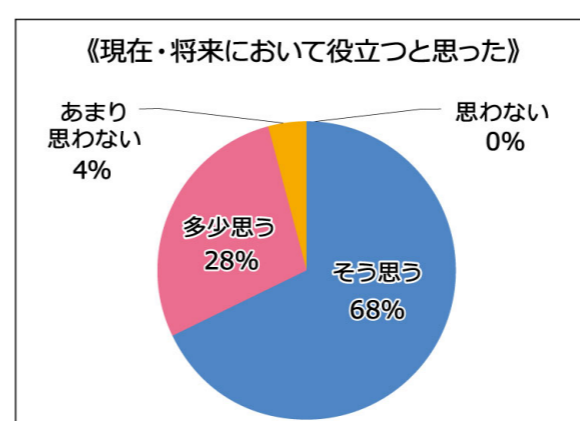
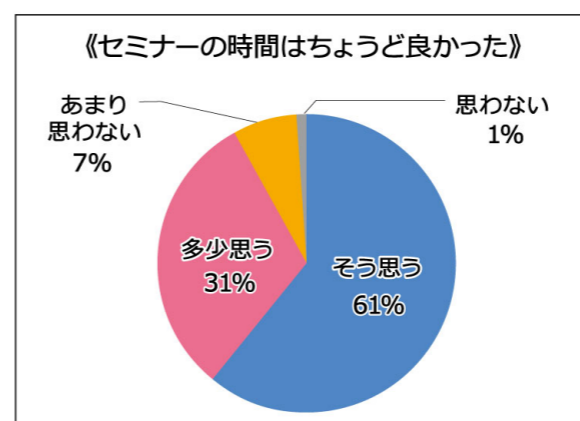
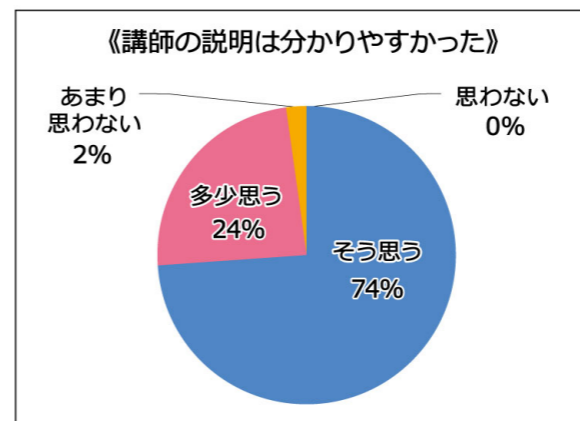
専門家 弁理士 大久保 秀人 (沖縄国際特許商標事務所)



学校担当者の感想

- 少人数の参加者による質疑応答形式で行ったため、参加者の研究活動で生じた疑問点について詳細に解説頂き、大変有意義だった。
- 知財の一般的な扱いに加えて、本校担当者から組織内での知財に関する手続きを説明できたことで、参加者はより実務的な知識を得られたと思う。

知的財産保護支援(学校向け) アンケート結果



受講者の声 学生

- 思っていたより身近な事だったので知らないことばかりでしたし、クイズ形式で楽しく学ぶことができました。今後も絶対に必要になる知識だと思うので凄く参考になりました。
- 社会に出る時やネットを利用する時に音楽や物の著作権に気を付けたいと思いました。
- 私もモノ作りをする側なので、もっと著作権について勉強しようと思いました。
- 自分たちのアイデアにそった的確なアドバイスを貰えてとても役に立ちました。
- このデザインにすることによってどんな利便性があるか考えるのが面白かったです。
- 自分の意見を褒めてもらい、自信ができました。
- 試作品をもっと良くしたいと思い、頑張ることが出来ました。
- 今日の授業で、パッケージのネーミングなどで自分が買っていた商品もあって、とても面白かったです。私も商品開発で役立てたいと思いました。
- 知的財産の勉強はしましたが、沢山の商品を見ることが出来てより身近になりました。私も是非自分なりのアイデアを考え、商品を生み出したいと思いました。
- 特許の基本的な情報について、簡単にまとめられていて分かりやすかったです。これから就職した後、研究職に就いたら役に立つと思いました。
- 専門用語が多く出てきましたが、一つ一つ用語の説明も簡単に分かりやすくしてくれて、講演前より知識が増えた気がします。
- 企業で行う研究と産業がどのようにつながっているのかよく分かりました。
- 特許を取得するだけでなく、「活かす」ことの大切さを知りました。

受講者の声 職員

- 論文作成時や学生のレポートを指導するときに役立つ内容だと思いました。
- 知的財産権の基礎的内容や侵害になる要件について丁寧な説明があり、理解が進みました。
- 具体的な裁判例や社会で問題になった事例で、興味深くわかりやすかったです。
- 特許出願までの大まかな流れ、申請に係る費用や期間について説明いただきました。守秘義務や情報開示に関する質問にも対応いただき参考になりました。
- 守秘義務を負わない者への研究内容開示のリスクや共同出願のデメリットなど、今後の事務を行う上で大変役立つ内容でした。

グローバルニッチ企業 知的財産取得補助金

事業概要

優れた技術等を有し、かつ、それらを海外において広く活用する中小企業者に対し、外国特許等出願経費の一部補助や事業化に向けた専門家による助言を行い、積極的かつ戦略的な外国への事業展開を促進します。

■ 補助の内容

補助額 ●特許：100万円以内（補助率2/3以内） ●意匠・商標：30万円以内（補助率2/3以内）

補助対象経費 外国特許庁への出願手数料、PCT国際出願費用、現地代理人費用、国内代理人費用など

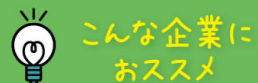
補助対象外経費 国内出願にかかる費用、PCT出願を基礎とした日本国特許庁への国内移行手数料、先行調査費用、出願にかかる支援事業者の人件費、交通費、光熱水費、食糧費、研究開発に係る設備導入、運転費用、デザイン費用など。



専門家による
支援例

- 製品をPRする海外の展示会を探したい。
- 商談に必要な準備を進めたい。(パンフレット他ツール)
- 商談相手と契約書を締結したい。
- パッケージ等について現地消費者の嗜好を知りたい。

その他、具体的な要望を踏まえ、
支援を行います

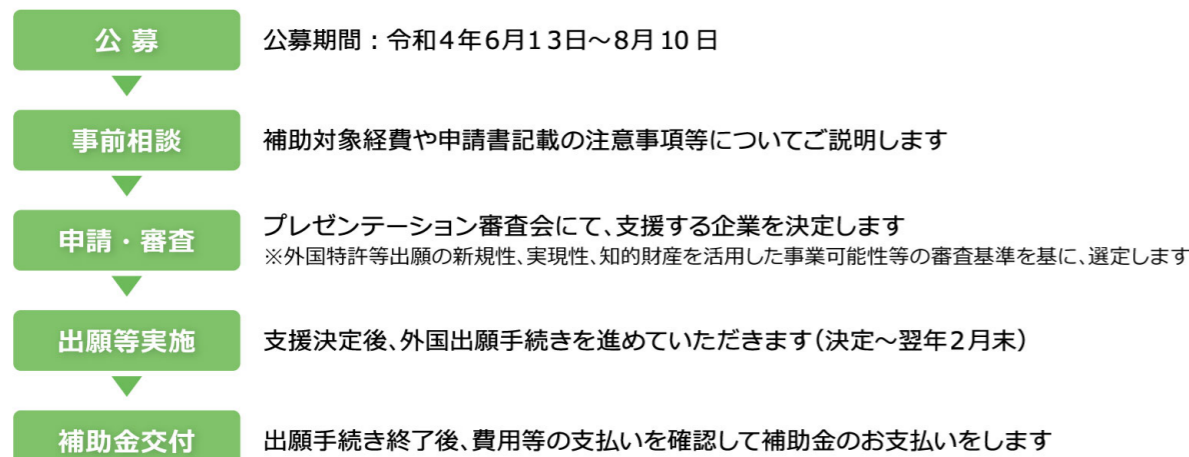


こんな企業に
おススメ

【どちらにも該当する企業】

- 特許、意匠、商標の外国出願について、年度内(2月末)までに申請を予定している
- 出願内容を活用した海外事業を実行する計画、体制がある

■ 公募から補助金交付までの流れ



事例 FILE 1

海外展開へ向けて、商標を保護

株式会社トマス技術研究所

海外出願の
目的

「チリメーサー」の海外展開を円滑に進めるため

出願概要

- 種別：商標(区分 第11類)
- 出願国：アメリカ、フィリピン、インドネシア
- 出願方法：マドリッド協定議定書による国際出願

《出願の内容》

CHIRIMESER

企業担当者の感想

今回の支援を受けて商標を海外でも登録することで「CHIRIMESER」の海外展開が安心して円滑に行える体制を整えることができました。

株式会社トマス技術研究所 <https://thomasgk.com/>

- 住所：沖縄県うるま市勝連南風原5192番42 ■TEL：098-989-5895
- 事業内容：無煙小型焼却炉・中型焼却炉等、環境改善製品の研究・開発・設計・製造・販売・管理、省エネルギー製品の研究・開発・設計・製造・販売・管理



事例 FILE 2

海外展開へ向けて、商標を保護

農業生産法人株式会社 伊江牛

海外出願の
目的

海外での食肉加工販売等を行う準備を進めているため

出願概要

《出願の内容》

- 種別：商標(区分 第29類、第31類)
- 出願国：台湾、マカオ
- 出願方法：国内出願を基礎とした優先権主張による外国特許庁への出願



企業担当者の感想

沖縄発の安心・安全の産物を世界の人々にお届けしたいと考え、弊社商品の輸出を決意。補助金を活用させて頂き、具体的に進めていくことができ感謝しております。輸出実現にあたり、乗り越えなければならないハードルがまだまだありますが、引き続き沖縄県産業振興公社様をはじめ、お力をお借りしながら輸出PJを一步一步前に進め、夢を実現していきたいと思っております。

農業生産法人株式会社 伊江牛 <https://iegyu.com/>

- 住所：沖縄県国頭郡伊江村宇西江前1898番地1
- TEL：098-992-2929 ■事業内容：畜産、加工、卸、販売、飲食業



シャトーブリアン



ハンバーグ



ペットフード

【令和4年度】
知的財産包括支援事業 事例集

問い合わせ先



〒901-0152 沖縄県那覇市小祿1831番地1
(沖縄産業支援センター4階 401)

TEL:098-859-6239

E-mail:chizai@okinawa-ric.or.jp

Website : <https://okinawa-ric.jp/>